

〈2026年9月・2027年4月入学〉

早稲田大学大学院  
環境・エネルギー研究科

外国人特別選考入学試験要項

修士課程・博士後期課程

海外協定校からの入学希望者対象

■個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

## 目次

外国人特別選考入学試験要項：修士課程・博士後期課程 海外協定校からの入学希望者対象

<b>出願要領</b> .....	3
1. 募集人員 .....	3
2. 募集研究指導と授与学位 .....	3
3. 入学の時期 .....	3
4. 出願資格 .....	3
5. 出願期間 .....	4
6. 出願書類 .....	4
7. 出願方法（郵送での出願書類分） .....	9
8. 入学検定料 .....	9
9. 入学検定料の支払い方法 .....	9
10. 入学検定料の返還について .....	11
<b>受験要領</b> .....	11
1. 選考方法 .....	11
2. 不正行為について .....	11
<b>合格者発表</b> .....	11
<b>入学手続要領</b> .....	12
1. 入学手続期間 .....	12
2. 入学辞退にともなう学費返還 .....	12
3. 学費・諸会費等 .....	12
4. その他 .....	13
<b>在留資格「留学」の取得について</b> .....	13
特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度 .....	15
<b>研究指導および担当教員</b> .....	17

- 本要項における外国人特別選考入学試験は、原則、早稲田大学の海外協定校卒業見込みの方のみが出願することができます。
- 外国人特別選考制度入学試験は、2026年9月および2027年4月入学志願者に対し、2回実施します。
- 志願者は、2回の試験のうち、1回のみ出願することができます。
- それぞれの出願日程・試験日程が異なります。日程を間違わないよう注意してください。
- 出願前に必ず当研究科入試係に出願する旨をメールで連絡してください。

E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp)

## 出願要領

### 1. 募集人員

若干名

### 2. 募集研究指導と授与学位

#### 【修士課程・博士後期課程】

研究指導	指導教員	授与学位
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 小野田 弘士	工学・学術
環境共生・地域社会システム研究	教授 野津 喬	学術
環境・エネルギーガバナンス研究	教授 馬場 健司	工学・学術
環境・物理化学プロセス研究	准教授 大内 隆成	工学・学術
環境・エネルギーシステム工学研究	准教授 大槻 貴司	工学・学術

### 3. 入学の時期

2026年9月 または 2027年4月

### 4. 出願資格

#### 【修士課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

#### (1) 制度上の資格

- ・出願時に早稲田大学の海外協定校に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

#### (2) 学歴上の資格

次の①または②および③の条件に該当する者を対象とします。ただし、2026年9月入学志望の者は2026年9月20日まで、2027年4月入学の者は2027年3月末日までの見込者とします。

- ①外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または修了見込みの者。
- ②外国において学校教育における15年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- ③日本語能力試験N1以上の語学能力を証明できる者。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)卒業生には、上記②には該当しません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

※初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。”学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学国際アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

※外国籍の方であっても、日本の大学を卒業している方は「外国学生」には該当しません。

・学歴確認フォーム ダウンロードサイト

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/faq/>

・問い合わせ先メールアドレス

[iao-gs@list.waseda.jp](mailto:iao-gs@list.waseda.jp)

### 【博士後期課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

#### (1) 制度上の資格

・出願時に早稲田大学の海外協定校の修士課程に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

#### (2) 学歴上の資格

・次の条件に該当する者を対象とします。ただし、2026年9月入学志望の者は2026年9月20日まで、2027年4月入学の者は2027年3月末日までの見込者とします。

・修士の学位を得た者またはこれに相当する学位を得た者。

## 5. 出願期間

入学時期	入試区分	出願期間
2026年9月	5月入試	2026年4月4日(土)～5月1日(金)【必着】
2027年4月	5月入試	2026年4月4日(土)～5月1日(金)【必着】
	11月入試	2026年9月26日(土)～10月26日(月)【必着】

## 6. 出願書類

【○提出必須、△提出任意、×提出不要】

	書式	提出書類	修士	博士
①	所定用紙	<p>志願票</p> <p>以下の全要件に合致する写真を貼付してください</p> <p>1. 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真(タテ4:ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし・写真用紙に印刷されたもの)を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、データ版もあらかじめ取得し、大切に保管しておいてください。</p> <p>2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。</p> <p>3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</p> <p>4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。</p> <p>5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真(スピード写真可)で撮影してください。</p> <p>6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>提出書類の偽造・虚偽(顔写真の加工・修正等)が判明した場合、不正行為認定の対象となります。</p> </div> <p>本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公</p>	○	○

		<p>的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、メールで当研究科 (<a href="mailto:weee-ent@list.waseda.jp">weee-ent@list.waseda.jp</a>)までご連絡ください。性別情報が可否に影響を及ぼすことは一切ありません。</p> <p><a href="https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/">https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/</a></p>		
②	所定用紙	<p>志望理由および自己アピール書</p> <p>志望理由と進学に対する意欲、本人の能力のアピール等を1,000字以内で記入してください。</p>	○	○
③	所定用紙	<p>入学後の研究計画</p> <p>希望する研究課題の内容や活動計画の概要を1,000字以内で記入してください。</p>	○	○
④	所定用紙	<p>研究業績報告書</p> <p>研究等に関する業績を記入してください。</p>	×	○
⑤	所定用紙	<p>活動実績概要書</p> <p>本人が行ったこれまでの研究や社会での活動の概要を1,000字以内で記入してください。</p>	○	○
⑥		<p>各種証明書(原本)</p> <p>①卒業・修了(見込)証明書 ②学位取得(見込)証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ず原本を提出してください。コピーは受理しません。</li> <li>証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください</li> <li>卒業修了見込証明書が発行されない場合は、在学証明書を提出してください。</li> <li>博士後期課程に出願する方は、学部・修士課程両方の各証明書を提出してください。</li> <li>複数の大学・大学院に在籍している(在籍していた)場合、全ての大学・大学院について提出してください。</li> </ul> <p><b>中国の大学を卒業(見込みの方含む)方は、上記に加え、以下の事項も確認し、提出してください。CSSD(CHESICC)からの書類も出願書類提出期限までに当研究科に到着させてください。CSSDからの書類は、出願期間前でも受け付けます。</b></p> <p><b>◆中国の教育機関を卒業した方は、次の①、②が必要です。</b></p> <p>① 证书编号が記載されている<b>卒業証明書</b>、<b>学位取得証明書</b>、および<b>成績証明書</b>(いずれも日本語または英語。原本であること)の郵送提出。</p> <p>② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、<b>学歴認証報告書(英語版)</b>(Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate) および <b>学位取得の認証書(英語版)</b>(Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate)の2つが CSSD から環境・エネルギー研究科事務所 (<a href="mailto:weee-nyusi@list.waseda.jp">weee-nyusi@list.waseda.jp</a>) へ出願期間締切日までにメールで直送されるよう手配してください。</p> <p><b>◆中国の教育機関を卒業見込の方は、次の①、②が必要です。</b></p> <p>① 大学発行の<b>卒業見込証明書</b>、<b>成績証明書</b>(いずれも日本語もしくは英語版。原本であること)の郵送提出。</p> <p>② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する<b>学籍の認証書(英語版)</b>(Online Verification Report of Student Record)を CSSD から環境・エネルギー研究科事務所 (<a href="mailto:weee-nyusi@list.waseda.jp">weee-nyusi@list.waseda.jp</a>) へ出願期間締切日までにメールで直送されるよう手配してください。</p>	○	○

		<p>詳細についてはCSSDのWebサイトをご確認ください。  <a href="https://www.chsi.com.cn/en/pvr/">https://www.chsi.com.cn/en/pvr/</a></p>		
⑦		<p>成績証明書(原本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。</li> <li>・ 編入学者は、編入学前の成績証明書も提出してください。</li> <li>・ 博士後期課程に出願する方は、学部・修士課程両方の証明書を提出してください。</li> <li>・ 複数の大学・大学院に在籍している(していた)場合、全ての大学・大学院について提出してください。</li> </ul>	○	○
⑧	所定用紙(推奨)	<p>推薦状(原本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定様式のことを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。</li> <li>・ 出願開始日の2年前以降に作成されたもののみ有効になります(作成日が記載されていない推薦状は無効です)。</li> <li>・ 推薦状は必ず厳封されたものを提出してください。厳封が無いものは原則無効といたします。</li> <li>・ 日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。</li> </ul>	○	○
⑨		<p>英語能力証明書(原本) ※以下1)~3)のうちいずれか1点</p> <p>・ <b>試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで英語能力証明書(原本)を郵送してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原本を提出してください。インターネットのスクリーンショット等を提出した場合は出願が無効となります。</li> <li>・ 提出されたスコアカードは返却しません。</li> <li>・ 自宅等から受験可能な試験(TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等)は原則として不可です。</li> <li>・ 出願受付開始日から2年以内に受験した英語テストスコアレポートのみ有効です。提出可能な英語テストは以下の通りです。</li> </ul> <p><b>1) TOEIC L&amp;R (公式認定証 Official Score Certificate)</b>  「Official Score Certificate」(公式認定証)が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「Official Score Certificate」(公式認定証)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。  TOEIC 団体Webサイト  <a href="https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html">https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html</a></p> <p><b>【送付先情報】</b>  学校機関名・学科: 早稲田大学  部署・係: 大学院環境・エネルギー研究科入試係  住所: 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1  西早稲田キャンパス51号館1階</p> <p><b>2) TOEFL-iBT (Official Score Report)</b>  「Official Score Report」が試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付されるように依頼してください。「Official Score Report」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。  TOEFL団体Webサイト <a href="http://www.ets.org">http://www.ets.org</a>  DIコード(Designated Institution Code): C324</p> <p><b>3) IELTS Academic (Additional Test Report Form)</b>  「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)(郵送)が、試験実</p>	○	○

		<p>施団体から当研究科事務所 (Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University) へ直接送付されるように依頼してください。「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)(郵送)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。</p> <p>IELTS団体Webサイト  <a href="https://ieltsjp.com/japan/results/additional-trf">https://ieltsjp.com/japan/results/additional-trf</a></p> <p>【送付方法】  「郵送/By post」を選択</p> <p>【送付先情報】  学校・機関名: 早稲田大学 (Waseda University)  提出先(部署名・学部名・担当者名): 大学院環境・エネルギー研究科 入試係 (Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering)  送付先住所 (Street Address): 3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 (1F, Building No.51, Nishi-Waseda Campus, 3-4-1)  送付先住所 (Address Line 2): 大久保 (Okubo)  送付先住所 (Suburb/City): 新宿区 (Shinjuku-ku)  送付先住所 (State/Province): 東京都 (Tokyo)  送付先住所 (ZIP/Postal Code): 1698555  送付先住所 (Country): 日本 (Japan)</p> <p>(※TOEIC IP, TOEIC S&amp;W, TOEIC Bridge, TOEFL ITP, TOEFL PBT, TOEFL CBT, IELTS General Training, TEP-TEST等は無効です。)</p>		
⑩		<p>日本語能力証明書(原本) ※以下1)・2)のうちいずれか1点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、<u>国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで日本語能力証明書(原本)を郵送してください。</u></li> <li>・以下の1)および2)試験を受験できなかった場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書または所見を提出してください。</li> </ul> <p><b>1) 日本語能力試験 (JLPT) N1 の「認定結果及び成績に関する証明書」</b>  「認定結果及び成績に関する証明書」が、試験実施団体から当研究科事務所 (Waseda University Graduate School of Environment and Energy Engineering) へ直接送付されるように依頼してください。「認定結果及び成績に関する証明書」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。  ※「日本語能力試験合否結果通知書」は提出しないでください。  日本語能力試験 (JLPT) 団体 Web サイト  <a href="https://www.jlpt.jp/certificate/index.html">https://www.jlpt.jp/certificate/index.html</a></p> <p>【送付先情報】  〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1  西早稲田キャンパス 51 号館 1 階  ( 1F, Building No.51, Nishi-Waseda Campus, 3-4-1 Okubo, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8555)  早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係  (Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)</p> <p><b>2) 日本留学試験 (EJU) の「日本留学試験 成績通知書」</b>を提出の場合は、他出願書類と一緒に郵送してください。</p>	○	△
⑪		<p>学術論文、学会講演発表等の抜き刷り等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術論文、学会講演発表等の抜き刷りならびに各種制作物等の写真やリストなど</li> <li>・各種資格取得証明書、取得特許概要等のコピー</li> </ul>	△	△
⑫	所定用紙	<p>留学にかかる経費負担計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の用紙に、当学に留学する間の総費用(修士課程出願者は2年</li> </ul>	○	○

		分、博士後期課程出願者は3年分の学費および生活費)をどのように負担するのかについて記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•志願者本人の署名を忘れないようにしてください。</li> <li>•経費負担計画書の「政府またはその他財団」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書(原本)を提出してください。日本語または英語で発行されていない奨学金受給証明書を提出する場合は翻訳文も提出してください。翻訳文の内容を証明する公証書の提出は不要です。</li> </ul>		
⑬		パスポートのコピー(顔写真のページ)	○	○
⑭	所定用紙	在留資格認定証明書交付申請書(申請人等作成用)写真1枚添付	○	○
⑮	所定用紙(一部)	経費支弁に関する書類(原本)  入学初年度分の学費・生活費の資力があることを証明する書類 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が経費を負担する場合 本人口座の預金残高証明書※1</li> <li>• 奨学金を受給する場合 奨学金受給証明書</li> <li>• 本人以外が経費を負担する場合 以下書類を両方とも添付してください。 ① 経費支弁書(所定用紙) ② 経費負担者口座の預金残高証明書※1</li> </ul> ※1 残高証明書の注意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・口座名義人名、銀行名、日付、預金残高が確認できるもの。</li> <li>・1年分の生活費として96万円以上の残高が必要。</li> <li>・日本語・英語以外の言語の場合は日本語または英訳を添付すること(翻訳公証は必要ありません)。</li> <li>・日本円以外の預金残高証明書の場合は、当研究科で書類確認時のレートで換算します。</li> </ul>	○	○
⑯		入学検定料を支払ったことの証明書  外国送金の場合は外国送金依頼書のコピー、クレジットカード、銀聯カードの場合は「申込内容照会結果」画面を印刷したものを同封して下さい。	○	○
⑰	所定用紙	提出書類返還依頼書  再発行が不可能なものに限り、書類を返還いたします。卒業(修了)証明書、学位証明書、成績証明書、語学能力証明書(日本語・英語)、公証書、推薦状等の再発行可能な書類は返還されませんが、当学が確認を行い、再発行が不可能だと判断した書類のみ、返還いたします。返還作業には1~2ヶ月程かかります。	△	△

・所定用紙は当研究科Webサイトからダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>

※Word文書として入力後、印刷して提出してください。手書きで提出する場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。様式の大きさ等の変更しないでください(修士課程へ出願する方は、日本語で記入してください)。

※また、顔写真や各種機関から発行された証明書等は、修正や加工をせずにそのまま提出してください。顔写真や証明書等に何らかの修正や加工をすることは厳に禁じます。修正や加工をした場合は不正行為となる場合があります(11ページの「不正行為」に関する注意も合わせて参照のこと)。

本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

## 7. 出願方法(郵送での出願書類)

- ① 出願期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。出願締切日を必着とし、締切日を過ぎて到着した願書は一切受け付けません。
- ③ 送付する封筒の表面に、必要事項を記入した「出願書類提出用ラベル」(所定書式)を貼り付けてください。
- ④ 出願書類受理証明書等は発行しません。出願書類が大学に到着しているかどうかは、各自で、トラッキング番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

## 8. 入学検定料

15,000円

## 9. 入学検定料の支払い方法

納入期間は以下のとおりです。

入学時期	入試区分	納入期間(JST)
2026年9月	5月入試	2026年4月4日(土)～5月1日(金)
2027年4月	5月入試	2026年4月4日(土)～5月1日(金)
	11月入試	2026年9月26日(土)～10月26日(月)

※入学検定料支払い、出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

※入学検定料を納入していない方の出願は受け付けません。

以下の支払い方法のうち、いずれかを選んで支払ってください。

### ■ 外国送金による支払

入学検定料 15,000円に円為替手数料 2,500円を加算した合計 17,500円を、次の要領に従って金融機関より送金して下さい。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、17,500円とは別に窓口で支払って下さい。また、必ず「外国送金依頼書」のコピーを提出書類に同封して下さい。

送金種類(Type of remittance)	電信送金(Telegraphic Transfer)
支払方法(Payment method)	通知払(Advise and Pay)
振込銀行手数料(Bank Transfer fee)	依頼人負担(Payer's Responsibility)
円為替手数料(Lifting charge)	受取人負担(payee's Account)
送金金額(Remittance amount)	17,500円(検定料15,000円+円為替手数料2,500円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合は、この金額とは別に窓口でお支払いください。
送金目的(Purpose of remittance)	入学検定料(Screening Fee)
連絡事項(Message to payee)	研究科コード「54」と志願者本人の英字氏名 (Graduate School Code 54 along with Applicant's Name in English)
送金先 (Payee's Account Information)	銀行名: 三菱UFJ銀行(MUFG Bank, Ltd) 支店名: 江戸川橋支店(Edogawabashi Branch) 口座番号: 0035967FLK 受取人名: 早稲田大学(Waseda University) 銀行住所: 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂3-7 (3-7, Kagurazaka Shinjuku-ku Tokyo, Japan) スイフトコード: BOTKJPJT (Swift Code)

## ■クレジットカード・中国オンライン決済(銀聯カード)による支払方法

クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手を完了させる必要があります。

支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、志願票と一緒に提出してください。支払方法の詳細については、以下の「クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法」を確認してください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

# 早稲田大学

## クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。

Web申込み・オンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

<b>1. トップページ</b>	お支払い先を選択してください。
<b>2. 学校選択</b>	申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。
<b>3. 学校案内</b>	注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。
<b>4. カテゴリ選択</b>	第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック
<b>5. 基本情報入力</b>	申込者本人の基本情報を入力してください。支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

**クレジットカードの場合**

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。  
※American Expressの場合は15桁  
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

↓

全入力内容が表示されますので、よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

↓

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する  
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

**銀聯カードの場合**

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

↓

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する

印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。

郵便局から郵送にて出願。

**【注意事項・よくあるお問合せ】**

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

**■手数料について**

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

## 10. 入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は早稲田大学環境・エネルギー研究科事務所入試係([weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp))までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

## 受験要領

### 1. 選考方法

提出された出願書類を基に可否判定を行います。

### 2. 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

- a. 本学に提出した書類・資料、提供した情報等(以下、「本提出書類等」といいます。)に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
  - b. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
    - ・本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。
  - c. 不正行為と認められた場合、次の対応をとります。
    - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
    - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。
- なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消とします。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の所属機関・保護者等への報告を行う場合があります。

## 合格者発表

- ① 当研究科Webサイトに「合格者受験番号表」を発表日17:00に掲載します。

入学時期	入試区分	合格者受験番号表発表日
2026年9月	5月入試	2026年 5月 25日 (月)
2027年4月	5月入試	2026年 5月 25日 (月)
	11月入試	2026年 11月 25日 (水)

※電話、E-mail等による可否に関する問い合わせには回答しません。

- ② 当研究科が、9月入学を認めた当研究科合格者には、2026年9月からの入学を許可します。ただし、2026年9月20日までに入学資格を取得した方に限りです。
- ③ 当研究科が、4月入学を認めた当研究科合格者には、2027年4月からの入学を許可します。ただし、2027年3月末日までに入学資格を取得した方に限りです。

## 入学手続要領

所定の期間内に、①入学手続情報の入力<UCARO>②入学手続料(登録料・学費・諸会費)の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>の3点を完了することにより、入学手続が完了します。登録料は、入学者に限り「入学金」に振り替えます。入学手続期間後の入学手続はどのような事情があっても一切認めませんので、十分注意してください。詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。なお、入学時期の延期、変更等はできません。

### 1. 入学手続期間

入学時期	登録料・学費等振込期限(JST)	入学手続締切日(JST)
2026年9月入学	2026年6月9日(火)	2026年8月18日(火)【締切日必着】
2027年4月入学	2026年12月2日(水)	2027年2月16日(火)【締切日必着】

- ① 手続はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。
- ③ 送付する封筒の表面に**外国人特別選考 手続書類在中**と朱書してください。
- ④ 手続書類受理証明書等は発行しません。手続書類が大学に到着しているかどうかは、各自、トラッキング番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。
- ⑥ 手続完了者には、「入学許可書」を送付します。

≪手続書類郵送先≫

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1  
西早稲田キャンパス 51号館 1階  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

### 2. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した登録料・学費・諸会費(第一期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

### 3. 学費・諸会費等

2026年9月入学者の入学手続に必要な入学金・学費・諸会費等は、以下の通りです。

修士課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
300,000	486,500 (入学時)	486,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 835,000 春学期 535,000

博士後期課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	353,500 (入学時)	353,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 602,000 春学期 402,000

※当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入學する場合、入学金が免除されます。  
※学費等は改定されることがあります。学費等の一覧は以下URLで確認してください。

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

※上記表の学費等の他に、最終学年・最終学期に校友会費10年分(割引適用40,000円)が必要となります。  
(本学学部出身者、編入学、一貫制博士課程、博士後期課程、科目等履修生、ダブルディグリーは対象外)

#### 4. その他

当研究科の授業は、主に早稲田・西早稲田の2キャンパスで開講しています。

### 在留資格「留学」の取得について

留学センター在留資格 Web サイト: <http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上記のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。

#### (1) 在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。当研究科では所定の**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局に COE の代理申請を行います。所定の書類が提出されない場合や書類に不備がある場合は、「在留資格認定証明書」の代理申請は行いません。代理申請後、COE が出入国在留管理局より当研究科に交付されましたら、申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COE を受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COE の有効期限は発行日から3か月ですので、有効期間内にビザを取得し、渡日してください。COE 代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COE の交付まで2~3か月程度を要しますので、すみやかに入学手続を行ってください。

**【注】代理申請は、学費等振込を完了しないと行いません。**希望者は、すみやかに振込を済ませ、早急に代理申請手続について当研究科入試担当にメールでご連絡ください(返信時に「在留資格認定証明書代理申請依頼書」をお送りします)。

**フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国**の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書(COE)の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。  
<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

#### (2) 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。在留期間更新手続に関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/#section-2>

#### (3) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(1) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

#### (4) 「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続の必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/#section-3>

【注】在留期間更新許可申請書および在留資格変更許可申請書には、早稲田大学が発行する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を当研究科事務所に持参してください。

(5) 在留資格の取得、変更(自己申請)

〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ(観光、商用、知人・親族訪問等 90 日以内の滞在で報酬を得る活動をしていない場合)で入国した場合、原則として、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館で COE を提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末(2月末、3月)で、新学期前に帰国が難しい場合は、志願者本人が東京出入国在留管理局でCOEの申請を行い、COE が発行されたら、資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の取得が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

(6) その他注意事項

- ・当研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書(書式自由)とともに至急COEを当研究科へ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター(E-mail: [cie-zairyu@list.waseda.jp](mailto:cie-zairyu@list.waseda.jp))または当研究科(E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp))へ問い合わせてください。

## 特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度

### 特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度

以下の1. に掲げる条件に合致する出願者は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

#### 1. 適用条件

文末に記載の対象国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者。

\*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

\*重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

#### 2. 免除申請手続

出願書類として提出を求めている入学検定料支払証明書の代わりに以下の書類を提出してください。

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

#### 3. 注意

1) 出願期間終了後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

2) 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。誤って支払ってしまった場合、入学検定料の返還は行いませんのでご注意ください。

3) 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、検定料は免除になりませんのでご注意ください。

#### [対象国\*]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

\*OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国

\*最終更新：2025 年 5 月

受験番号（事務所記入欄）

## 早稲田大学入学検定料免除措置申請書

申請日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

早稲田大学の検定料免除を申請する場合は、所定の入学検定料を支払わず、出願時に本申請書を提出してください。万が一支払った場合、返金は出来ませんのでご注意ください。

適用条件：以下のいずれかの国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

\*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

\*重国籍の場合は、いずれの国籍も上記の国に該当していることが必要です。

\*最終更新：2025年5月

出願学部・研究科： \_\_\_\_\_

出願者氏名： \_\_\_\_\_  
姓 名

国 籍 1： \_\_\_\_\_

国 籍 2： \_\_\_\_\_  
(重国籍の場合)

現 住 所： \_\_\_\_\_

## 研究指導および担当教員

### 【研究指導内容】

#### 環境・パワーシステム研究

草鹿 仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり、近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は、このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

#### 環境・エクセルギー工学研究

中垣 隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
- ・二酸化炭素分離回収固定化技術(CCS)
- ・化学、電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究
- ・燃料電池、リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発

俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

#### 環境システム評価研究

納富 信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果を、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

#### 環境・電気エネルギー研究

紙屋 雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等)を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリー」とバッテリーへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類(バッテリー、モータ、充電システム等)の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリー・充電問題」に対処していく。

#### 環境配慮エネルギー・循環システム研究 小野田 弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭においた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス利活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

#### 環境共生・地域社会システム研究 野津 喬

近年、環境問題を単独の課題としてとらえることは難しくなっています。環境問題を理解し、解決するためには、環境、経済、社会のすべての観点から考えることが必要です。地域社会は、環境、経済、社会に関する課題とポテンシャルの双方を有していることから、新たな環境共生社会を実現するための実践の場として注目されています。

本研究指導では、地域資源の活用を通じた、環境と調和した持続可能な地域社会システムの実現に向けた研究を行います。特に環境、エネルギー、地域、食料、農業など多面的な分野の相互関係に着目して、社会科学及び政策的な観点から研究を行います。研究テーマの例としては以下のようなものがあります。

再生可能エネルギーやバイオマスなど未利用資源の活用による地域活性化、環境循環共生政策、農業政策、食料政策、地域政策、食料産業・農業におけるイノベーションシステムの構築、遺伝資源 など。

#### 環境・エネルギーガバナンス研究 馬場 健司

脱炭素社会、循環型社会、自然再興社会への移行(トランジション)を目指して、新しい技術の導入や社会変容が求められている。しかしながら、再生可能エネルギー(再エネ)施設を大量導入しようとする、生態系や景観、地域資源配分等、いわば地球環境と地域環境や社会との間でトレードオフが発生するケースがある。また、長期的な環境リスクは多くの人々にとって自分事として捉えられず、例えば気候変動への適応行動や環境配慮製品の購入行動は発生し難い状況にある。さらに、移行を促進する革新的な政策は形成され難く、それが多くの都市や地域でも採用される状況も稀である。このような課題に対応すべく、環境政策学、政策過程論、合意形成学、行動科学等のフレーム、アプローチにより、再エネ施設立地と合意形成、気候変動影響のシチズンサイエンス、環境配慮行動の発生と態度行動変容、熟議型手法の開発と運用、気候トランジション、政策イノベーションの発生・波及過程等の研究を行う。

#### 環境・物理化学プロセス研究 大内 隆成

持続的な金属資源の確保を目的に、環境負荷の低減とエネルギー利用の高度化を両立する金属製錬・リサイクルプロセスの開発を、物理化学・熱力学・電気化学・反応工学・材料科学を基盤に推進する。貴金属(Au、Ag、PGMs)、レアメタル(W、Ti)、活性金属(Ca、Mg、希土類)を対象とする製錬・リサイクルプロセスの開発に加え、ベースメタル(Cu、Pb、Zn、Fe)からの貴金属・レアメタル不純物の選択除去・濃縮・回収プロセスの開発、さらには金属析出・溶解プロセスの基礎解析にも取り組む。研究背景となる製錬技術や金属商流の歴史と現状の調査、プロセスの基礎理論、実験計画、データ解析、論文執筆・学会発表までを徹底的に指導し、環境・エネルギーの視点を持って自立して研究を遂行できる研究者・技術者の育成を目指す。さらに、産学官連携、国際連携に関わる活動も積極的に推進する。

#### 環境・エネルギーシステム工学研究 大槻 貴司

持続可能な社会の実現に向けては、経済性や産業競争力を維持しつつ、環境性・強靱性が高いエネルギー・電力システムに移行することが重要です。しかし、エネルギー・電力システムの計画では様々な要因(技術や時間軸、エネルギー資源やインフラの地域特性など)を考慮する必要があり、それらを統合的に捉えた分析手法が必要です。そこで本研究指導では、数理計画法や地理空間分析、機械学習、計量経済分析などを基に、世界や国レベルのエネルギー・電力システムを計画・分析するための手法(エネルギーシステムモデルや電源構成モデル等)の開発に取り組んでいます。新たなモデル開発による学術的貢献のみならず、政府および産業界のエネルギー戦略策定や技術評価を支援することを目指しています。主な研究テーマと

しては、再生可能エネルギーや水素の最適導入量評価、最終消費者の技術選択（自動車や給湯技術など）、エネルギーおよび重要鉱物フローの統合的評価、エネルギー安全保障と気候変動対策の両立戦略、ならびに再生可能エネルギー資源量の評価です。

### お問い合わせ・出願書類送付先

早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科入試係

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

西早稲田キャンパス 51 号館 1 階

E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp)

事務所開室時間: 10:00~16:00(JST) (13:00~14:00 は閉室)

※土日・祝日を除く

※お問い合わせ・連絡は、E-mail でお願いいたします。